

長松白巖

（傳）
ひらぎ

宗敎家。文化十四年四月一日山城國生れ、明治二十

二年七月十七日歿（八二七一六〇）。舊姓大路、諱延禎、字十龍、幼名仙

（二）次（郎）、通稱仙右衛門。號清風、無貪等。本門法華を學ぶと、宗門

の腐敗を知らず還俗。安政四年在家佛敎の本門佛を講を開く。他皇及少

白蓮宗を批判、維新後政府の彈壓再（二）及ぶ。

文獻、西野白溪著『長松樵海風』（昭和四十八年十一月十五日大阪・大

放光社）等。